

笑顔のひろば

ひとりりで障害者協働支援ネットワーク

第78号

1面：第65回定例会報告／ネットワークリーフレット完成しました／第66回定例会案内 2面：講演会「CODAとMAGICから広がる世界」報告／県リーダー研修会参加報告 3面：自立支援協議会報告／「あいサポート運動」報告／社協「ボランティア講座」講師報告 4面：参加団体からのお知らせ ① ホットスペース講演会／②こ・こ・ろ「こども食堂」／発行／連絡先／会員募集／寄付金受け入れ

第65回定例会開催報告

1月17日（火）福祉交流センターに於いて第65回定例会を開催しました。取手市からのお知らせは、昨年開始した「あいサポート運動」研修実施状況と今後の予定が紹介され「あいサポート運動」への関心が広まって来ていると実感しました。

ネットワークからの報告を確認後、出席者全員による活動報告が行われ、活発な情報交換となりました。



ネットワークリーフレット（改訂版）完成しました



ネットワークのリーフレットも2013年8月に第二刷して10年がたち、紙面も時代の流れにそぐわなくなってきたように感じていたところ、丁度今年の今頃リーフレットの在庫が残り少ないのでと製作の依頼がありました。

この時期コロナ禍の大騒ぎでネットワークの行事も行えず、紙面に載せる写真もなく、あってもマスクをしたものでした。しばらくするとコロナが落ち着き始め行事も行えるようになり、掲載する写真も撮れるようになりました。前回の基本デザインは変えずに時代にあった紙面にする事にしました。ネットワーク役員の方々の意見を聞き、特に阿部さんは熱く、斬新なアイデアとアドバイスを受けました。そして出来上がったのです。これから5年、長くて10年は使用できるものと思っています。（鈴木 澄利 記）

第66回定例会開催のご案内

～4月の定例会は総会となります～

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日 時 令和5年4月18日（火）10：00～12：00
- 場 所 取手市福祉交流センター 多目的ホール
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他

講演会「CODAとMAGICから広がる世界」開催報告

令和5年2月4日（土）福祉交流センターは会場を埋め尽くす参加者で溢れていました。



CODAの事を知らない方が多いと思います。
CODAとは耳がご不自由な親の元で育った子供の事です。
その特殊な環境の事をお話ししてもらいました。

講師はCODA当事者の小林重雄さんです。取手で生まれ育ち、今は豊田市で小学校の先生をされています。CODAのことは一般家庭で育った方には、想像できない生き立ちだと思います。

彼の世界ですが、その生き立ちを赤裸々に語ってくれました。

今日、カミングアウトしたエピソードもありました。CODAとMagicの関係も彼の生き立ちの中で大事な役割をしていました。最後にその得意のMagicを披露していただき大喝采でした。

内容は、とても深くて簡単にここで記述はできませんが、とりあえず想像ができない事が多かったです。

ヤングケアラーの支援は取手市も考えてくださるでしょう。

観客は予想を大きく上回り大盛況です。終わったあと、とても良い反応があり、質問の内容が濃かった講演会は初めてでした。

わざわざ、豊田から来て頂き「CODAの環境とその経験から」の講演を聞くことが出来本当に良かったです。

この場で彼の話を知ることができた方たちは、良い経験をされたと思います。

（宮脇 貞夫 記）



茨城県障害者福祉団体リーダー研修会報告

2月14日、茨城県総合福祉会館（セキショウ・ウェルビーイング福祉会館）にて行われた障害者福祉団体リーダー研修会にて、宮脇さんと阿部さんお二人があいサポート運動について講演されました。

まず宮脇さんより、とりで障害者協働支援ネットワーク設立までや、活動を続けていくうちに行政や社協と協働できる関係性となってきた経緯などを話されました。スクリーンには、染野代表とネットワーク設立時より長年にわたりご尽力してきてくださった村上さんの写真が大きく映し出され、私自身いろいろ思い出し感慨もひとしおでした。

次に阿部さんより、とりで障害者協働支援ネットワークが鳥取県のあいサポート運動に共感して、取手市障害福祉課に提案し鳥取県との協定が成立、障害福祉課と共にあいサポーター研修を行うことになった経緯を話されました。

途中お二人の掛け合いもあり、いつでもこのコンビで講演できるなと思いました！

講演後質問する方も多く、その中には 茨城県としてあいサポート運動に取り組んでほしいという意見もあり、参加者の方々の関心の高さを感じました

最後になりましたが、講演依頼と当日の運営にてお世話になりました茨城県身体障害者福祉団体連合会の皆さま、そして講演までいろいろとお力添えいただいた取手市障害福祉課の皆さまに感謝申し上げます。

（美田 俊子 記）



自立支援協議会開催報告

2月15日（水）、令和4年度最後の全体会議が開かれました。全体会議に於いて、各部会でのこの1年の成果と次年度の活動目標が発表されました。各部会の発表内容は次のとおりです。

●地域で生活していくための部会

重大目標の緊急時の障害者の受け入れ体制は概ね、肯定的な事業所が相当数あり、4月から登録作業に入る。また、基幹相談支援センターの設置に向けて、実施事業所の選定と活動内容の精査はこれから詰めていく予定。

●児童に関する部会

児童及び保護者が相談できる体制、対応、情報の整備をする。

●日中活動に関する部会

市内の障害福祉サービス事業所の一覧を作成する。

●精神障害にも対応した地域包括システム部会

勉強会の開催。内容は後日検討。座談会の開催。

登壇者に支援状況について語ってもらう。グループホームの実態を知る。

社協主催「ボランティア講座」講師報告



社会福祉協議会主催、令和4年度の障害者・児支援ボランティア講座1日目は身体障害者の講座です。

例年、肢体不自由者の団体であるNPO法人活きるが担当し、宮脇が講師を努めています。当事者代表として妻の満理子も参加しました。

今回の受講者は8名とまずまずの入りです。

受講者のプロフィールを見ると、全員が何らかの障害に関わっている人たちでした。しかし、肢体不自由者と関わっている人はいなかったため、今日の講座は新鮮に感じてもらえるでしょう。

まずは、宮脇がボランティアを始めたきっかけを話しました。妻がクモ膜下出血で重度の障害者になって、多くの方にお世話になったことへの恩返しのつもりです。

今回の受講者の方たちはそもそも純粋に障害者の支援をやりたくて来られた方たちなので、宮脇と違って動機が純粋です。

次に、ボランティアとしての基本的な立ち位置と心がけ、そして、障害者を支援する上で、他のボランティア活動と違うところを聞いてもらいました。特に対等な立場での対人援助の特徴と自立に向けての意識付けを力説しました。これらはすべて宮脇が経験的に得た知識で学問的に勉強したわけではありません。講師として適切な役割か疑問が残りますが、少しでも心に残るものがあれば幸いです。

後半は肢体不自由者の支援に大切な技術的支援について聞いてもらいました。まず、肢体不自由者の必須アイテムの車いすについて取り扱い方法や当事者にとってとても大事な道具であること、そしてシーティング（着座姿勢）の大切さもお話しました。

そして、もっとも重要な介護技術については12種類の介護技術を動画でお示しし、その特徴やコツを聞いてもらいました。時間の都合やコロナの感染リスクがあるので実技は今回見合わせました。動画を見ただけでは技術をマスターするのは難しいですが、こんな技術があるということを知ってもらって記憶に残してもらいたいです。技術習得はNPO法人活きる主催の楽ちん介護に来て学んでください。

（宮脇 貞夫 記）

《ネットワーク参加団体・会員からのお知らせ》

① 取手精神福祉家族会ホットスペース(障害者の就業支援について学ぶ機会を持ちます)

- 講座名 障害者の就業、定着に向けて
- 講演講師 障害者就業・生活支援センターかすみ (以下、なかぼつかすみ)
- 主な内容 (1) なかぼつかすみの事業概要、運営体制など
(2) 利用者の就業状況、就業後の定着状況
(3) 就業に向けての支援内容
(4) なかぼつかすみと取手市内就業支援事業所との連携
(5) 障害者雇用枠の現状 など
- 開催日時 2023年5月23日 (水) 14:15～15:45
- 開催場所 取手市福祉交流センター 多目的ホール

* なかぼつかすみは、障害のある方の就業面と生活面の一体的な相談・支援を行うところで、一般企業で働きたい・働いている障害のある方や、障害のある方の雇用に取り組んでいる・これから取り組みたい企業の皆様へ相談・支援を行っています。

② こ・こ・ろ こども食堂 (3月のイベント)

寒さの中に春の気配を感じる頃、卒業、旅立ちの季節となりました。この時期「こ・こ・ろこども食堂」は卒業を祝い、新しい門出にエールを贈るイベントを開催します。

* こ・こ・ろ 祭り : 3月21日 (火) 13:00～15:30 取手市福祉会館会議室D
食事有り、ゲーム有り、最後にこ・こ・ろの感謝の気持ちを添えて花束を贈ります。

* こども🌸まつり : 3月26日 (日) 10:00～16:00 ウェルネスプラザ

取手のこども食堂・学習支援教室を応援するため、高校生 (UNSAM) が作る「あそび・たべ・であう」祭りです。高校生のアイデア満載の遊び、こども食堂「こ・こ・ろ」「ゆう」の豚汁とカレーライスで子どもや地域住民をお待ちしております。

(NPOこ・こ・ろ 志賀 恵子)

とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第78号

- 発行 : 令和5年3月1日
- 発行所 : とりで障害者協働支援ネットワーク
- 発行者 : 染野和成
- 編集者 : 鈴木澄利 武藤ほとり 石塚照子
- 連絡先 : 取手市本郷5-4-21
TEL : 090-1426-6588 (石塚)
時間 : 平日 10:00～15:00
E-mail : toride.ssknet@gmail.com
HP : <http://ss192693.stars.ne.jp/index.htm>

《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。
寄付金についてもよろしくをお願いします。

○会費 (年額)

- (1) 正会員 団体 1口 1,000円 1口以上
個人 1口 500円 1口以上
- (2) 賛助会員 (団体・個人)
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

- 口座番号 常陽銀行 取手支店
普通 1887469
- 口座名義 障害者協働支援ネットワーク
代表 染野 和成